

柿「天下人」 知事に贈る

JA全農岐阜

県産の高級ブランド柿
「天下富舞」の生産者やJA

最高級柿の天下人を古田肇知事に贈る加藤一美部長(左)＝県庁



A全農岐阜の役員が8日、県庁を訪れ、古田肇知事に同品種の最高級品「天下人」を贈った。

県園芸特産振興会果樹部会かき専門部の加藤一美部長(本巣市)は、夏の暑い

日が続き、色づきや出荷に

遅れが出たとしつつも「今年も例年並みの糖度が出せた」と説明した。古田知事は「天下人は岐阜の秋を彩る風物詩になった。皆さんのご苦労の結晶だ」とねぎらった。

天下富舞は県が開発した「ねおスイート」のうち一定基準を満たした柿で、織田信長が掲げた「天下布武」にちなんで命名。中でも天下人は糖度25度以上、310g以上で、2日の初競りでは昨年に続き100万円(2個、税抜き)で競り落とされた。

(稲葉亮)